

# 本校生徒の活躍が新聞に掲載されました。

本校、生活情報科の生徒の活動が新聞に掲載されました。

**地域の竹で竹炭作り**

地域に生い茂る竹を有効利用する環境学習の一環として竹炭を作っている豊田市鶴ヶ瀬町の松平高校の生徒が三十日、学校近くの窯に材料の竹を詰める作業に取り組んだ。完成品は、室内用やブーツ用の消臭剤として九月以降の催しで売り出す。

竹炭作りは十年来の恒例行事。趣味で炭作りをする地元の加藤五男さん(七〇)に教わっている。

生活情報科の一、三年生十五人が参加。竹林のそばに設けた加藤さんの窯に集合し、一束十キにまとめた竹を車輪の付いた台座に載せて窯の中へ並べた。「生徒たちの商品になるから失敗はできないね」と指導役の加藤さん。窯の中で作業をした三年の大橋諒君(〇)

**豊田・松平高の生徒ら ことしも**



は「買ってよかったと思うてもらえるものを作りたい」と意気込んだ。

後日、火を入れて炭にし、包装紙や袋に詰めて商品にする。

九月の文化祭や十月の松平交流館の催しで売る。

(河北彬光)

加藤さん(左から2人目)と竹を窯に詰める生徒たち=豊田市鍋田町で

↑ 7月1日付 中日新聞に掲載されました。